

ベキモノガアリ、其ノ組織モ廣汎ニナツテ居リマスカラ、別ニ第三ノ項ニ説明スルコトニ致シマス。

第二無産者新聞

無産者新聞ガ昭和三年十一月新聞紙法違反トシテ起訴サレ、昭和四年九月ニ第二無産者新聞トシテ創刊サレテ以來、無ノ補助機關トナツテ昭和六年十一月二日附赤旗第五十八號ニ「中央機關紙ノ再編成ニ就テ第二無産者新聞ヲ蘇中央機關紙トスル」ト宣言シテ居リマスガ、創刊當初カラ毎號殆ド發賣領布ヲ禁止サレテキマス。之ガ爲ニ諒防ノ手段トシテ取締回避ノ方法ヲトリ、印刷所ヲ轉々ト變更シ一處場所ガ同志間ヲ定マルト、話メカケタル社員ハ持參シテ來テ帶封包装紙ヲ以テ刷上ル一方ヨリ逐次處理シ、包装モ周到ナル用意ヲシテ他ノ合法新聞紙裡ニ卷込ミ、或ハ蜜柑箱内ニ又ハ煙草古箱内ニ容レ、發送先モ漆メアドレスヲ定メテ直ク等イタシテ、非合法ノ配布ヲ用意周到ニシテ居リマス。共產黨ニ引込ム爲ニハコノ機關紙ガ

宣傳煽動用ニ利用サレマスガ然レ彼等ニトリテハ重要ナ機關紙デ、決シテ無難作ノ處置ヲセス大切ニ後始末ヲシテ發見サレナイ様ニサレテアリマス。

第三無産青年

之モ機關紙デアリマスガ、此ノ無産青年ハ日本共產青年同盟ノ指導下ニ非合法ニ發行サレル新聞デ、昭和三年七月創刊サレ同年十月一度休刊ノ運命トナリ、翌四年三月十五日再發行トナリマシテ、爾來今日迄繼續シテ發行シ、非合法ナ方法ヲ以テ配布サレテキルノデスガ、第二無産者新聞デ申シマシタ様ニ周到ナル方法ヲ講ジテアリマス。無産青年ハ日本共產青年同盟ノ補助機關トシテノ役割カラ、昭和六年末ニハ更ニ第二無産者新聞ガ大衆的ノ煽動ノ爲メニ中央機關紙トナツタト共ニ、無産青年モ日本共產青年同盟ノ「アヂ・ブロ部」機關紙トシテノ役割ニアツテ、別ニ又書ニヨリ發表セナイガ關係者ハヨク認識ノ下ニ活動シテキルノデアリマス。此ノ新聞ハ青年